



明日へ

学校教育目標

自律:自ら考え、判断し、行動する生徒

尊重:自他を理解し、協働する生徒

創造:健全な精神と豊かな発想で、創意工夫する生徒

学校テーマ

～みんなで創る！ 夢・実現する学校～

私たちの思いを聞いて！・・・『豊見城市少年の主張大会』

7月3日(水)に豊見城市中央公民館において、令和6年度 第41回『豊見城市少年の主張大会』が開催されました。市内4中学校から各学校代表2名が暗唱で発表しました。本校からは3年生の垣花令采さん、長田亜依さんの2名が発表しました。自分の今の思い・考えを自分の言葉で素直に表現した中学生らしい素敵な発表でした。

～「ゼロ」から始まる第一歩～

3年1組 垣花令采さん



「心機一転」気持ちを新たに切り替えて頑張ろうと強く感じた出来事がありました。

それは私たちの通う中学校の分離、新たな学校への移動です。今まで過ごしてきた伊良波中学校から分離して、豊崎中学校という新しい環境で新しいメンバーと共に過ごすことになったのです。私はその学校での1番最初のチャンスを掴みたくて、生徒会長になりました。そこから、豊崎中学校をよくしていきたいという志を持った仲間達と共に、生徒一人一人が誇れる学校作りを行っています。

それまでの私のモチベーションといったら、あまり学校行事などに関心がなく、実績をつくることを目的に学級の級長に立候補するぐらいで、「学校をより良くするために」という、ほど遠いものでした。しかし、「日本最後の分離新設かもしれない」と聞いた私は、こんなチャンスは人生でめったにないと思い、初代生徒会長に立候補することにしました。

それからは、今まで関わったことのなかった学校をより良くしていきたいと思っている人たちとも関わるようになり、私も豊崎中学校をみんなに認められる良い学校にしたいと思うようになっていきました。そこからは、心機一転、学校のために生徒会、そして一生徒として行事の企画や日々の委員会活動等に積極的に取り組んでいます。



私たちが今通っている豊崎中学校は、工事を進めてくださる業者の方、先生方、地域の方々など様々な人の協力のうでで作られ、成り立っています。そのおかげで私たちは新しい環境で安心して新しい学校生活の再スタートを迎えることができました。この、地域との繋がりを身近に感じながら、さらに新しい1歩を踏み出せるチャンスを経験できたことは当たり前のことではありません。そのことを噛み締めて、日々支えてくださっている方々に感謝しながら、自分たちや地域の未来を創っていくこの環境を大切にしていきたいと思っています。

豊崎中学校のように、無かったものを1から作るというのはたくさんの労力、そして痛みが伴うものです。なぜかという、誰かひとりの言動だけで作れるものではないからです。必ず、多くの人々の協力があってこそ作られるものだからです。

だからこそ、ないものをカタチにする、なにかを1からつくる、というのは、難しくもある一方でとてもすばらしいことだと思います。そして、つくられたものは誰かの心に残り、その人の未来を育んでいくひとつの欠片となります。このことから、なにかを1からつくることの大事さがわかります。

まだ、運動場の工事などが今まさに続いている豊崎中学校に通う私たちは、ゼロからイチを作り上げる大変さやすごさを身近に感じる事ができる日々を目の当たりにしています。しかし、ゼロからイチを創り上げるすごさに気付いている生徒は多くはいません。私もこのことを考える機会がなければ気づくことが出来ていなかったと思います。それではせっかく人生に2度と経験できないかもしれない機会の貴重さに気づけずに日々を過ごすことになってしまいます。「こんな貴重な機会に学ぶことができないのはもったいない」私はそう思います。変化に気づかず日々を過ごすのではなく、私は生徒会として後輩に繋げていけるような行事、伝統などをつくることで、なにかを1からつくる、というすごさを身を持って示していきたいです。産声を上げたばかりの豊崎中学校に新たな伝統を生み出し、この先何十年も繋いでいけることを夢んでいます。いつか私たちが大人になったときに「私たちが豊崎中の1期生」だと胸を張って言えるように、私たちの世代が後輩たちになにを残せるか考えながら学校生活を過ごしていきたいです。新しい学校で過ごす一日一日を大切に、まだカタチのない行事をゼロからイチにできるように、そうやって作りあげる時間を楽しみながら大切にしていきたいです。